

令和7年度施策評価シート（評価対象年度：令和6年度）

基本政策 【分野】	都市基盤が整った快適で暮らしやすいまちづくり 【都市基盤分野】		施策	25_道路	所管部長 取りまとめ所属	土木部長 道路整備課	
施策の内容	便利で快適な道路ネットワークの形成に向け、都市計画道路の整備を推進します。 また、安全な交通環境や歩行空間を確保するとともに、老朽化している道路施設の計画的な整備を推進します。						
めざす姿	市域の道路ネットワークが整備され、交通環境の利便性が向上しています。 道路施設が計画的に整備され、誰もが安全で快適に利用しています。						
重点事業	都市計画道路田中笠窪線整備事業		安全な歩行空間整備事業				
施策構成事業	道路維持管理費		舗装打換事業費		市道改良事業費		
	橋りょう維持管理費		安全な歩行空間整備事業費		都市計画道路田中笠窪線整備事業費		
評価							
進捗評価	概ね順調		評価の 判断理由	重点事業の取組状況として、取組工程に多少の遅れが生じていますが、成果指標の実績値については現状と比較して上昇傾向となっています。 また、その他の施策構成事業においても、着実に事業の進捗が図られていることから、施策全体として概ね順調に進捗しているものと判断できます。			
施策推進上の課題・ 環境変化	都市計画道路田中笠窪線整備事業は、平成14年度の事業着手より相当な期間を要していることから、早期に供用開始することが求められています。 また、通学路における安全確保の徹底や本格的な高齢社会を迎える中、高齢者や障がい者など全ての人が暮らしやすいまちづくりを進めていくためにも、安全な歩行空間の整備が求められています。 これら道路事業には多くの費用が必要となることから、国の交付金など財源の確保も重要な課題であります。						
評価の経過	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	概ね順調	概ね順調					
施策推進の方向性							
方向性	継続						
総評・今後の施策 推進方針	道路は市民生活を支え、都市基盤の骨格となる施設であることから、生活環境の向上を図るためにも、計画的に整備を進めるとともに道路機能の維持・向上を図る必要があります。 このため、都市計画道路田中笠窪線については、市内東西交通の利便性の向上や、防災機能が集中する行政センター地区及び医療拠点へのアクセス向上、伊勢原駅周辺の交通混雑の緩和などが図られることから、令和6年度から串橋地区についても事業着手をし、計画的に事業を推進していきます。 また、道路の安全で安心な交通環境の向上を図るための歩道設置や、子どもや高齢者、障がい者など、誰もが安全で円滑に移動するためのバリアフリー化、歩車共存道路による歩行空間の確保など、安全な歩行空間の整備についても計画的に事業を推進していきます。						
成果指標							
成果指標名	現状値	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	R 8 実績値	R 9 実績値	R 9 目標値(方向性)
指標の定義							
都市計画道路田中笠窪線の整備率	89.2% (R3)	93.1%	田中地区：95.9% 串橋地区：3.0%				100%
都市計画道路田中笠窪線の事業認可を受けた区間の整備率							
安全な歩行空間の整備延長	10,639m (R3)	12,877m	13,931m				16,191m
歩道、バリアフリー化及び歩車共存道路の整備延長							
安全で快適な市域の道路ネットワークが整備されていると思う市民の割合	29.7% (R4)	29.7%	31.9%				↗
市民意識調査で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合							

重点事業の取組内容			
事業名	都市計画道路田中笠窪線整備事業		
事業内容	市内の東西交通の利便性向上や、防災機能が集中する行政センター地区及び医療拠点へのアクセス向上、伊勢原駅周辺の交通混雑緩和のため、都市計画道路の整備を計画的に実施します。		
取組工程	項 目	令和6年度	
		計 画	実 績
	道路整備等 (田中地区)	用地補償／ 擁壁工事／ 電線共同溝工事	用地補償
	道路整備等 (笠窪・串橋・神戸地区)	詳細設計／ 用地・補償	詳細設計／ 用地・補償
令和6年度 取組内容	【田中地区】 ●道路計画に必要な用地取得を行いました。 【笠窪・串橋・神戸地区】 ●道路の詳細設計を行いました。 ●道路計画に必要な用地取得及び物件除却補償等を行いました。		
事業名	安全な歩行空間整備事業		
事業内容	安全な交通環境や歩行空間を確保するため、歩道整備やバリアフリー化及び歩車共存道路の整備を実施します。		
取組工程	項 目	令和6年度	
		計 画	実 績
	歩道整備工事	設計・工事	地元調整・工事
	バリアフリー化工事	工事	工事
歩車共存道路整備工事	工事	工事	
令和6年度 取組内容	【歩道整備工事】 ●市道2703号線の工事を実施しました。 ●市道81号線の歩道整備に向けて、地元と意見交換会を行いました。 【バリアフリー化工事】 ●市道62号線の工事（視覚障がい者誘導用ブロック等の整備）を実施しました。 【歩車共存道路整備工事】 ●市道81号線、市道620号線の工事（グリーンベルトの整備）を実施しました。		
重点事業以外の取組内容			
令和6年度 主な取組内容	【道路維持管理費】 ●令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とした、伊勢原市道路トンネル、大型カルバート長寿命化修繕計画を策定しました。 【市道改良事業】 ●市道82号線、市道613号線、市道464号線、市道1020号線の改良工事等を実施しました。 ●市道605号線改良工事に伴う、用地取得、物件除却補償等（R7へ一部繰越）を行いました。 【橋りょう維持管理費】 ●市道829号線三間橋、市道86号線伯母様橋、市道666号線龍泉寺橋、市道2号線池端陸橋（R7へ繰越）、市道418号線三ノ宮橋（R7へ繰越）の修繕・耐震工事を実施しました。 ●令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とした、伊勢原市橋りょう長寿命化修繕計画を策定しました。		